

れいわ ねん がつ はっこう
令和3年1月5日発行
に し じ ん こ う ぼ う

つうさん だい ごう
通算 第178号

西陣工房だより

れいわ ねん ねん げいしゆん
令和3年 2021年 迎春
あけまして おめでとうございます



初詣 出店も無く、例年の賑わいの無い天神さんでした R3.1.4 北野天満宮にて

新年のご挨拶

にしじんこうぼう しょちょう かわ い たかし
西陣工房 所長 河合 隆

障害者の就労支援と言え、企業に就職する一般就労が最も好ましいとされ、
障害者を多く雇用する企業に手厚い補助金が支給される政策が採られています。一部
の障害者にとってはそれは社会参加に繋げる素晴らしい制度ですが、一部の障害者にと
っては悪意ある企業に食物にされる可能性のある制度でもあります。就労支援の本質
は、「支援される障害者をいかに成長させて社会の役に立たせることができるか」と言う
ことだと思いますが、一般就労ではそれが「最低賃金を支払うこと」に歪曲されてし
まったように感じます。そこでは、最も重要な職業訓練が企業に丸投げされ、う
やむやにされてしまっています。一般就労において、雇用された障害者とその会社の本



業に従事していれば理想的に機能する可能性もありますが、残念ながら現状では、企業は障害者雇用促進法により強制的に法定雇用率分の障害者を無理やり雇用させられているという感じなので、本業には従事せずに雑役に従事する障害者が圧倒的に多いのが現状です。従って、会社に就職するメリットは就職した時から最低賃金がもらえるという一点にあると言っても過言ではありません。

実力を付けるには、練習のための練習ではなく本番を積み重ねる事が重要
 最低賃金は確かに大きな魅力です。施設でそれを稼ぎ出すことは極めて困難です。しかし、私はそれ以上に利用者を自立した大人として成長させることが極めて重要であると考えるようになりました。西陣工房は平成16年(2004年)の開所以来、仕事はもちろん、リクレーションもふんだんに実施する特異なB型事業所として活動してきました。西陣工房の利用者達は文字の読み書き、文章の作成、計算などは極めて苦手ですが、手先が器用でゲームなどが上手な人が多い。そういうことから、手作業によるものづくり、その最高峰と言える伝統産業が天職であると判断し、開所当初から地元の京組紐と西陣織に取り組みました。とは言え、当時は技術も無い、機械・道具類も無い、仕事も無い状態でしたから、最初からうまく出来るはずも無く、ただ、ただ基本の練習を愚直に繰り返しました。また、利用者としてしっかり向き合っよく遊びました。しっかり遊ぶと日帰りでは物足りなくなり、それが合宿に発展しました。遊びから生まれる信頼関係は確実に職員の指導力に繋がりました。それは利用者との距離を近くして、細部にわたる指導を行き届かせて西陣織や京組紐の基礎技術を向上させました。また様々な補助金を活用して機械・道具類を整備し、作れるものを増やして品質も向上させました。しかし、工賃にはすぐには反映しません。観光客相手の組紐体験教室を開設。また、卓球バレーではいろんな大会で優勝を勝ち取り、ウクレレも10人近いアンサンブルができて発表する機会も増えました。そうした下積みを経て、成長軌道に乗り始めたのが5、6年前。今では「伝福連携」を掲げ、先進的でユニークな取り組みをしているB型事業所として注目されるようになり、工賃も全国平均の2倍以上になり、念願の新施設建設へ駒を進めることができました。私は利用者と職員が補完、協力して仕事を行うことができるB型事業所が知的障害者が仕事をする理想的な環境であり、その一体感は一一般就労では到底真似できないことだと考えております。にもかかわらず、政策としてあまり成果が出ておらず、評価されないのは職員が介護職員中心の構成になりがちであり、利用者の潜在能力をあまり認めず目標設定が常に低いということにあります。利用者の潜在能力を正しく見極めて、収益の上がる仕事にしっかりと導くことが工賃向上の道であり、一般就労を凌駕してB型の制度を守るその先導役として今後さらに実績を上げていく。新しい施設で西陣工房が取り組むべき使命がここにあります。今年も頑張りましょう。

がつ よてい
1月の予定

1月4日(月)新春 リクレーション 初詣、北野天満宮書き初め

1月4日(月)ウクレレサークル 15時~17時

1月5日(火)仕事初め

1月8日(金)工賃支払日

1月9日(土)~11日(日)冬合宿 国立立山青少年自然の家

1月13日(水)~15日 西支援校2年生実習

1月23日(土)「京のはあと製品応援事業」テスト販売 イオンモール桂川

1月30日(土)職員会議

1月31日(日)スポーツデー 市内散策

1月の卓球バレーの練習は、13日(水)、20日(水)、27日(水)16:30~17:30

長期の予定

2月11日(祝)冬のリクレーション 内容未定

毎年、利用者2チーム、保護者、職員で参加する京都卓球バレー大会交流大会は中止になりました。

1. 1月9日(土)~11日(祝)冬合宿 国立立山青少年自然の家



立山青少年自然の家 R3.1.4のライブカメラより

昨年、一昨年と信州高遠(長野県伊那市)で実施した冬合宿は寒かったけれど雪に恵まれませんでしたが。冬合宿は雪遊びが中心でないとおもしろくないと思うので、今年は久々に立山青少年自然の家で行うことにしました。1月5日午前8時現在145cmの積雪だそうです。今年は大いに雪で遊びたいと思います。

2. 1月23日(土)「京のはあと製品応援事業」テスト販売 イオンモール桂川

京都府がノウフクで実施されるテスト販売に伝福も含めていただき、この日、西陣工房もイオンモールで販売して、マスクを中心に消費者の反応を体感します。

3. 1月31日(日)スポーツデー 市内散策

卓球バレー大会が中止になったので、1月、2月とスポーツデーを行います。朝9時に西陣工房を発売して16時半頃まで1日市内を歩きます。参加するメンバーを見てコースを考えたいと思います。寒さを楽しみましょう。

がつ
12月のできごと

12月 8日(火)バナナ寄贈	
12月12日(土)とっておきの芸術祭表彰式知事賞受賞	利用者16人参加
12月12日(土)ウクレレサークル	利用者11人参加
12月13日(日)京都卓球バレー協会との練習会と市内散策	利用者11人参加
12月21日(月)京都市伝統産業技術功労者表彰	河合理事長が受賞
12月25日(金)ぜんまい(糸繰り機)を寄贈される	
12月28日(月)仕事納め	
12月29日(火)年末リクレーション	利用者16人参加
12月30日(水)～1月3日(日)年末年始休暇	
1月 4日(月)初詣と書き初め、百人一首、カラオケ	利用者14人参加
1月 4日(月)ウクレレサークル	利用者8人参加

祝

- ★西陣工房縫製班がとっておきの芸術祭で知事賞を獲得しました
- ★河合理事長が京都市伝統産業技術功労者表彰を受賞しました
- ★宮崎久美子さんが伝統工芸士試験に合格されました

12日、今年もとっておきの芸術祭の表彰式が開催され、最優秀賞の知事賞に西陣工房縫製班が製作した「あまびえちゃん」が受賞。リーダーの小西さんが表彰され、さらに西脇知事と懇談し、それがKBS京都で放送されるなど、大いにPRしてもらいました。知事賞の重みを感じました。13日は卓球バレー一大会でしたが、コロナの感染者数が高止まりしているため、公式な大会としては中止になりましたが、卓球バレー協会の好意で午前中、試合会場での練習試合をすることになりました。今年度最終の交流大会も中止だそうで、今年度の卓球バレー大会は全部なくなりました。午後は桂川の河川敷を歩き、松尾橋からバスで帰りました。22000歩でした。



知事から記念品を受け取る R2.12.12 みやこめっせ



卓球バレー協会の役員も交えて練習試合 R2.12.13 京都市障害者教養文化体育会館にて